

「河原町・靈石山山歩マップ」

因幡の中央にそびえ立ち、天照大神の降臨伝承が今に伝えられる、歴史と伝説と神話の謎に満ちた靈石山へようこそ！山頂までの途上には、靈石山の名の由来にもなっている御子岩をはじめ、社寺や墓地など実に様々な史跡が点在しています。また、麓には鳥取県立21世紀の森が広がり、四季折々に移り変わる自然の観察を楽しむことができます。

●● 靈石山のみどころ ●●

1 展望台・グライダー基地

かつて天照大神も国見をなさった国中平野が一望できる。グライダー基地もあり、スカイスポーツのメッカとしても知られる。堀切の跡が見られる。

2 伊勢ヶ平

この山に行宮された天照大神が皇居を営まれたということから、この地を伊勢ヶ平という。かつてここに祀られていた伊勢宮は麓の米岡部落に移設された。

3 皇居岩

天照大神降臨の折、腰を下ろされ、袖をお掛けになったという。

4 山王宮

最勝寺の守護神で山王権現を祀る。真言宗の寺院にもかかわらず祀られるのは、ある理由があるとか。

5 最勝寺奥の院

周辺に、大シダレザクラや鐘楼のほか、供御の水・三十三観音・上人墓地・水天宮など多くの史跡。供御の水は、その昔天照大神行幸の際にこの清水で米を研いで献上したことから決まった時間に白濁するという。初代上人より数百年にわたる歴代人墓地やお産の神や乳の神として崇敬者が多かった水天宮など、このエリアは見どころが多い。

6 範頼の墓

伊豆から因幡に逃れてきた源範頼は教頼法師と名乗り最勝寺に入って、ここで死去したという。

7 御子岩

御冠岩とも。昔、天照大神行宮の道案内としておいてになった猿田彦の尊は、天照大神より少し離れた大きな岩に冠を置きお休みになされた。今でも毎年年末に、片山部落の老人会で大しめ縄が飾られ、道案内神様として崇められる。

8 国英神社

鳥取市指定天然記念物の「国英神社の大イチョウ」がある。かつては坂根八幡宮といい、八幡様である応神天皇とその母君の神功皇后、家来の武内宿禰の三神を祀る。

9 片山神社の雲龍桜

鎮守の森から一本だけ発見された桜の木。周りの木々に圧迫され、縦長に成長した。

10 八頭町方面

亀石と舟石という2つの大岩がある。中山展望台の下の亀石には、中山で非業の最後を遂げた地元武将たちの霊が宿っているといい、亀によく似ている。舟石の所では、かなりの量の湧水が湧き出ているらしい。



地域と地域 & 人と人 結びプロジェクト

協力：片山部落 谷幸彦